



	C			B
A				

Q 土佐日記第1章に出てくる古語で、せんべつの意。「AのBCけ」(すべて漢字。*日記中ではBCはひらがなです)

マスは漢字で埋めてください。

タテ 1488年加賀の僧侶と農民が起こした。三河や近畿などでも起きました。の科学技術には目を見張ります。それぞれさまざまに違っていること。
。9月頃に日本に長く雨を降らす停滞前線。
。花粉症や耳の病気ではお世話になります。

ヨコ 吉報を の思いで待つ。何を言っても聞き流してばかりで無駄だ。
。

親子クイズは、広報委員が南国市に関することを毎月順番に考えています。

締め切り / 平成16年11月15日 必着
あて先 / 783-8501 南国市大桶甲2301
南国市企画課親子クイズ係
賞品 / 正解者の中から抽選で、5人に図書券を贈呈
第389回親子クイズの答えは、「ツラユキ」でした。
応募総数 / 70通 正解率 / 100%

389回解答				【第389回当選者】			
コ	ク	ブ	ン	シ	北村	力雄さん	(十市)
キ	リ	ツ		ユ	大石	弥生さん	(天行寺)
ウ	チ	ウ	ミ	ウ	尾原	浩一さん	(上末松)
チ	カ	ラ	ク	リ	筒井	仁人さん	(大桶甲)
	チ	ラ	ロ	ス	西森	佳代さん	(大桶甲)

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

(3つの習慣・4つのポイント)

3つの習慣

寝たばこは絶対やめる
ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つのポイント

逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災報知器を設置する
寝具や衣類から火災を防ぐため、防災製品を使用する
火災を小さいうちに消火するため、住宅用消火器を設置する
高齢者や体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制を作る

平成16年度 秋季全国

火災予防運動

火災消した? いつも心にきいてみて

11月9日～15日 まで、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。近年の建物火災による死者のうち、約9割は住宅火災によるもので、また高齢者層の火災における死者の発生は、若年層に比べて格段に高く、出火原因は、コンロの消し忘れが多い傾向にあります。
このため、住宅における火災の発生防止および、高齢者らの死者の大幅な低減のため、右の「住宅防火いのちを守る7つのポイント」に、一人ひとりが細心の注意を払い、火災の発生を防止しましょう。

テレホンサービスの利用を

市消防署では、火災についての問い合わせなど、市民の皆さんの要望にスムーズに対応するため、テレホンサービスを開始しています。

各種の問い合わせに119番を利用すると、本来の目的である緊急電話としての利用に支障をきたす場合があります。特に火災発生時には、一時的に多くの問い合わせが殺到し、本来の通信業務にも影響が出ます。

火災など各種お問い合わせは、テレホンサービスをぜひご利用ください。

テレホンサービス
☎ 863-0999

テレホンサービス内容

火災など災害発生時
災害発生場所・災害種別など
平常時
休日当番医・その他

消防署 お問い合わせは
(863-3511)まで

まだまだ現役！



山本 慎一さん（植野）

妻と娘の3人家族です。仕事は左官業を16歳の頃から続けています。体を動かすことが好きなので仕事は苦になりません。住環境の変化で仕事は少なくなっていますが、元氣なうちは現役で頑張りたいですね。趣味は、ビデオやカメラ。部落の景色や人の表情などを撮っています。これとあることに撮影するものの、整理が追いつかなくて大変です。小学校時代の同窓会と、知人と行く旅行が日頃の楽しみで、特に同窓会は友人と気を許して話し合えるので、長く続いてほしいと思います。

「パソコンなどにも興味がある」と山本さん。70歳という年齢を全く感じさせない方でした。



下元 洋子さん（大桶甲）

何でもチャレンジ！

のんびりと夫と2人で暮らしています。娘や孫、ひ孫も近くにいたので寂しくなることはないですよ。お雛様などの人形作りやカラオケが趣味。出かけることも好きで、紅葉の季節は温泉などによく行きます。一度北海道へ行ってみたいです。昔は看護師の仕事がしたかったので、今後は高齢者の方をお世話するボランティア活動がしたいと考えています。南国市には、地域の特色を活かしたいろんな体験ができる施設などができればいいですね。

今年金婚式を迎えたという下元さん。旦那さんの横で取材に応じてくれ、お二人の仲むつまじさがとても伝わってきました。

市民からのお便り

親子クイズのプレゼントが図書券というのはうれしいですね。本を選ぶのは楽しいです。

交通安全対策

こうして事故は起こった

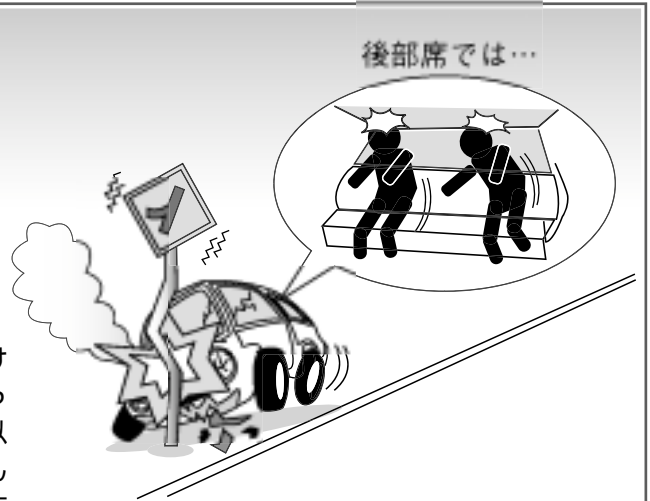
検証 後部シートベルトの重要性

事故の概要

車数台で、会社の慰安旅行の温泉に出かけた帰り道。Aさんの車には、同僚3人が乗っていました。昨夜は遅くまで騒ぎ、Aさん以外はみんな気持ちよく寝ていました。Aさんもつい眠気に襲われ、気付いたときには、車は道路左側の道路標識に衝突し、車前部が大破していました。この事故で、Aさんと助手席のBさんはシートベルトをしていたためほとんどけががありませんでしたが、後部席のCさんは重傷、Dさんは頭を車の天井に強打し、脳挫傷で即死しました。

事故の原因

Aさんの居眠り運転が原因です。後部席の2人がシートベルトをしていなかったことが重大事故になりました。



この事故から学ぶこと

後部席は、前席よりは安全と思っている人が多いのか、義務化されていないためか、シートベルトをしている人はほとんどいないようですが、事故が起これば後部席も同じように危険です。後部席に乗る人も必ずシートベルトをしましょう。また、運転者は、眠気を感じれば早めの休憩が肝心です。

資料提供：高知県県民生活課交通安全対策班 823 9319